

ツインズクレープ(八王子市)

若者の街・八王子で人気を呼ぶ 双子姉妹のクレープ店

子どもの頃の夢の実現に向けクレープ店の共同経営を図る

23の大学・短大・専門学校を有するなど国内有数の学園都市として知られる八王子は、地元住民だけでなく他の地域からも若者や子どもなど多くの人が集まり、賑やかで活気のある街を形成している。そんな八王子から駅一つ隔てた西八王子は、多少の活気を残しつつ、駅からつづく商店街を抜けるとたちまち落ち着きのある住宅街へと変貌する、静と動の混在したエリアだ。

双子の姉妹、あゆみさんとのぞみさんが當む「ツインズクレープ」は、この駅の南口から続く西八南口商店会の一角にある。オープンは昨年1月。双子姉妹と八王子の卵を

たっぷり使った手づくりクレープが自慢の街角にたたずむおしゃれな店で、テイクアウトの窓口からは目の前でクレープを焼く様子が見られ、店内はイートインスペースになつて

いる。クレープは幼いころから2人の大好物。子どもながらに「いつかクレープ店を開きたいね。」と語り合っていたという。

あゆみさんは大学で食や栄養について学び、フードスペシャリスト、調理師資格を取得したのちに、大手クレープ店で5年間勤務を経験した。

専業主婦として育児に専念していたのが、子どもが保育園に預けられるようになってからは、福祉関係の事務所で働き始める。その頃から子供時

代の夢であつたクレープ店を開きたいという思いが強くなり、目標を2年後と決め、クレープの開発や資格取得など開業準備を進めた。

双子の共通点は『食』と『クレープ』である。一人の夢であつたクレープ屋を開きたい気持ちをお互い再確認し合い、のぞみさんがあゆみさんを誘う形で『ツインズクレープ』をオープンさせた。

そこで東京都中小企業振興公社に相談したところ、専門家派遣の「**店主スキルアップ事業**」を利用することを勧められた。専門家が店を直接訪問し、課題の発見やその解決法、店舗・商品の開発などをアドバイスしてくれる支援事業だ。

すぐに、曜日ごと商品ごとの売り上げ比率や原価率の見直しが行われました。「開業時からエアレジを入していたのである程度数字は把握していましたが、専門家から具体的に損益分岐点の提示や問題点の指摘などを聞いていただき、開業してまだ半年程度でしたが、早々にメニュー

商店主スキルアップ事業をきっかけにメニューを一新し、生産性や売上が向上



左：加藤あゆみさん 右：古谷のぞみさん

事業活用事例ー店舗編ー

や価格を見直す決断もできました。」とのぞみさんは言う。

「80種類ぐらいあつたメニューを3分の2程度に減らしたことで、お客様さまが商品選びに迷う時間が抑えられました。また、4種類ある手づくりの生クリームを減らしたことで、廃棄分が少なくなりました。そして、調理の手間も大幅に軽減されました。数字やデータで結果を改めて見つめ直し、問題点を明確し、改善することで新たなメニュー やサービスを行うことができました。」と話すのはあゆみさんだ。

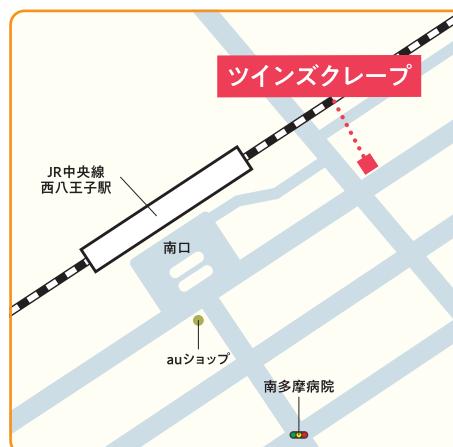
提案を受けてまだ手がつけられていないこともいくつかある。その1つがイートインスペースの有効利用。「平日の昼間は利用する人が少ないのでは、貸しスペースにしてちょっとして、展示会や趣味の集まりに利用してもらうなど、いろいろ考えているところです。」と二人は言う。

「自分たちだけではどうしても視野が狭くなったり、孤独を感じることもあつたけれど、専門家が来てくださることで心の励みになりました。」というのが2人の共通する思いだ。「今後も新商品や新サービスのアイデアをどんどんぶつけてアドバイスを受けようと思っています。」

夢は、いつまでもこの地に根差し、

「双子のおばあちゃんのクレープ店」として親しまれることだ。

開業から1か月経った2月には、「商店街パワーアップ作戦」に申し込み、内外装の見直しや新メニュー・新サービスのアイデアなどにもアドバイスを受けるようにした。それにより、店頭のメニュー ボードは以前より自店のこだわりをアピールした看板になつた。そのため、街ゆく人



店舗データ

店名／ツインズクレープ
業種／クレープ、タピオカ
所在地／八王子市台町4-44-5-102
電話／042-698-4826
営業／平日 11:00～19:00
土 10:00～18:00
日曜、月曜定休

活用プログラム

商店主スキルアップ事業
商店街パワーアップ作戦

